

物 性 測 定 報 告 書

JWTC 試第 RXX-XXX③号
令和 X 年 XX 月 XX 日

〇〇県××市△△町 1-2-3
〇△□株式会社 殿

一般財団法人 日本ウエザリングテストセンター
銚子暴露試験場

令和〇〇年〇〇月〇〇日付をもってご依頼の件、下記のとおり報告いたします。

言 記

受 託 令和〇〇年〇月〇〇日 件 名 大気暴露試験（銚子）
第 * * L W - * * 号

- 1. 暴 露 履 歴 物性測定を実施した試験片は、JWTC 試第 RXX-XXX①号で記述したものである。
- 2. 試 験 片 名称、大きさ及び数量：次のとおり。
③亜鉛めっき鋼板（150×70×2mm）……………18枚（6水準×n3）
- 3. 測 定 項 目 腐食減量測定…JIS Z 2371（塩水噴霧試験方法）の参考表 JB.1（腐食生成物の化学的除去方法）に準拠した。腐食生成物除去作業に使用した薬品、溶液組成、時間及び処理温度を表 1 に示す。

表 1 腐食生成物除去に使用した薬品、溶液組成、時間及び処理温度

腐食生成物 除去対象	使用した薬品	溶液組成	時間	処理 温度
亜鉛めっき 鋼板	酸化クロム（VI） [関東化学㈱]	（CrO ₃ ）200g イオン交換水を加えて 1000ml にした。	20 秒	80℃

- 4. 質 量 測 定 腐食生成物除去前、腐食生成物除去実施途中及び腐食生成物除去終了後に試験片質量を測定した。
測定機器：電子天秤 [XPR1203SV、メトラートレド㈱]
- 5. 測 定 時 期 各サンプリング後に実施した。詳細を表 2 に示す。
- 6. 測 定 結 果 腐食減量測定結果を表 2 に示す。
- 7. 備 考 測定結果は、測定終了毎に電子データで試験依頼者に送付した。

以 上

〒288-0825 千葉県銚子市新町 1034-1 番地 一般財団法人日本ウエザリングテストセンター 銚子暴露試験場 課長代理 嗟峨 修治 TEL (0479) 23-8131 FAX (0479) 23-8132	暴露試験等 管理責任者	試験担当責任者	試験担当者

表 2 腐食減量測定結果

暴露場所	試験期間	試験片 記号	質量測定結果(g)			腐食量 (g/m ²)	測定時期
			初期	除錆後	差		
銚子 (直接暴露)	6 か月	Z-1					20XX 年 X 月 XX 日
		Z-2					
		Z-3					
	12 か月	Z-4					20XX 年 XX 月 XX 日
		Z-5					
		Z-6					
	18 か月	Z-7					20XX 年 X 月 XX 日
		Z-8					
		Z-9					
	24 か月	Z-10					20XX 年 XX 月 XX 日
		Z-11					
		Z-12					
	30 か月	Z-13					20XX 年 X 月 XX 日
		Z-14					
		Z-15					
	36 か月	Z-16					20XX 年 XX 月 XX 日
		Z-17					
		Z-18					